

プリントメディア・サステナビリティ推進団体 Two Sides の活動と世界的な展開

昨年12月3日に環境保護印刷推進協議会(E3PA)の10周年記念“日欧印刷環境フォーラム”が六本木の国際文化会館にて開催された。このフォーラムの講演者として、欧州のプリントメディア・サステナビリティ推進団体である Two Sides の責任者 Martyn Eustace 氏が招聘された。今回は、この Two Sides の活動内容と、Eustace 氏からお伺いした話などを紹介していきたい。

Two Sides とは？

Two Sides はプリントメディアのサステナビリティを推進する NPO で、メンバーは製紙、紙商社、印刷、出版、DM、郵便事業などプリントメディアにかかわる幅広い団体や企業が参加している。発足は2008年で、当時英国では紙が森林伐採や環境破壊の原因になっているという間違った認識が広がっていた。このことに危機感をいだいた紙商社の業界団体が中心となり、正しい事実を消費者に伝える活動としての Two Sides が設立され、参加メンバーも製紙、印刷へと広がり、最終的には出版、新聞、郵便事業などのプリントメディアのサプライチェーンを全て網羅する団体となった。

欧州を中心にスタートした Two Sides の活動は、今日では米国、オーストラリア、南アフリカ、ブラジル、コロンビアにまで広がっている。

Two Sides の活動

Two Sides の活動はプリントメディアのサステナビリティを消費者に対して、事実を正確に、分かりやすく伝える事を基本としている。製紙会社などは紙のサステナビリティに関する詳細な資料を持つてはいたが、一般の人には分かりにくいものであったため、より分かりやすいものにまとめた。また消費者の意識調査を行ったところ、紙と森林伐採を結び付けて考えている人や、紙のリサイクル率を実態よりもかなり低く見ている人が多いことがわかり、それらの誤解を解くキャンペーンを行った。

このような消費者に対する正しい情報提供とともに、間違ったメッセージを発信している企業や広告などに対する注意喚起も積極的に行っている。欧州の規制では、“環境に優しい”をうたい文句にするにはそれなりの事実に基づく根拠がなくてはならないが、そのような明確な根拠がないにもかかわらず、環境保護を語っているケースが多々見られている。Two Sides はこのようなプリントメディアが環境によくないというような間違った認識を植え付けるような広告をしている企業や団体に対して注意喚起を行い、大きな成果を上げてきている。

また WWF などの環境保護団体とは頻りに意見交換を行うなどの活動をしており、プリントメディア関連業界だけでなく、他の環境 NPO との密な関係を持つことによりバランスのとれた、特定の業界に偏っていない団体としての立場を確立している。

大手メディアも参加

Two Sides の活動には各国の大手メディアも積極的に協力してくれており、各国の主要新聞や雑誌に Two Sides の広告スペースを無償で提供してくれている。その中にはタイム、エコノミクス

ト、ナショナルジオグラフィック、フィガロなど世界的に著名な雑誌や、各国を代表する全国紙も含まれている。

プリントメディアのプロモーション活動としての Print Power

プリントメディアのサステナビリティが消費者に対する BtoC のアプローチであるのに対して、プリントメディアの有効性をメディア責任者にフォーカスして伝えようとしているのが Print Power の活動である。こちらは BtoB でプリントメディアの有効性をアピールすることが目的であるために、Two Sides とは別のキャンペーンと位置付けられている。メディア戦略を考える責任者がより若い世代中心になってきており、それらの人たちはプリントメディアの有効性を十分に理解していないケースが多く見受けられる。そのような人たちに、プリントメディアがインターネットやモバイルを中心としたデジタルメディアとの親和性が高く、相乗効果が期待できることを理解させるために、それらの人々をターゲットに参考になる事例紹介や情報提供を行っている。

情報発信はウェブサイトのほか年2回 Print Power という冊子を発行しており、これは9の言語で11か国に7万冊が配布されている。

Two Sides による環境問題やプリントメディアの有効性のアピールは、プリントメディア産業界の抱える課題に対する正しい危機認識と、それに対する具体的な行動の表れとして高く評価できる。そのような活動を特定の業界という限られた枠の中でなく、プリントメディアのサプライチェーン全体という広い枠まで広げられた点は特筆される。

さらに欧州でスタートしたこの活動を、米国、オーストラリア、南アフリカ、ブラジル、コロンビアにまで世界的な広がりを持った活動に広げている。これらの地域はそれぞれ Two Sides のウェブサイトなどの基本インフラを共有しながら、地域ごとに独自の運営を行うことにより現地に即した情報の発信を行っている。相互に活用できるものは共有し、地域ごとに独自の情報は、その地域に向けて発信している。この世界的な動きに先進国としては日本が唯一取り残されている。これは一つには日本では業界の環境活動も盛んで、紙のリサイクルなども身近に良く実行されており、プリントメディアに対する誤った認識があまり多くないことや、海外のサイトとの情報共有における言語の壁などがあると思われる。ただ程度の差こそあれ、環境問題とプリントメディアの有効性に対する正しい理解は日本のプリントメディア業界でも欠くことのできないことである。Two Sides のようなプリントメディア業界全体としての活動を日本でも考えてみる時期が来たように思われる。

参考 URL

Two Sides : <http://www.twosides.info/>
Print Power : <http://www.printpoweruk.co.uk/uk/>